

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：5年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男子は、特に20mシャトルランの運動を持続する能力が優れている。
- 女子は、特に長座体前屈の大きく関節を動かす能力が優れている。
- 男女とも、反復横跳びの素早く動作を繰り返す敏捷性に課題がある。
- 女子は、朝食を毎日摂ることに課題がある。

2 取組についての評価

(1) 体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・自分の走る能力に合わせて距離を設定した持久走運動の実施
- ・体育で行う運動に応じて、準備運動で行う体づくり運動
- ・できるようになったことを自覚させる自己評価や振り返り活動の設定

②改善を図る点

- ・様々な運動を組み合わせて敏捷性・瞬発力を向上させる運動を実施すること
- ・体育の授業の中で、児童が主体的に練習に取り組むことができるような場づくりを行うこと
- ・体育の授業の中で、タブレットを活用し、自分の動きを評価する機会を設定すること

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・日常的に運動することへの意識を向上させるため、体力アップシートを活用し定期的に評価を行う。
- ・朝食摂取率を向上させるため、家庭への呼びかけを行う。